

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー学校名：山口県 岩国市立川下中学校

活動名：※どのような課題をどのような手法で解決したのか、わかりやすく伝える活動名を記入してください。
 小中連携「理想を現実に」～有機的な連携・協働を通して～

解決すべき課題：※活動を行う前に、課題や目標をどのように設定しましたか？視点などを含めて記載してください。
 本校区では、コミュニティー・スクール及び地域協育ネットを基盤としたやまぐち型地域連携教育をはじめ、キャリア教育の視点により推進している小中一貫教育推進プロジェクト、家庭教育支援チームなど、様々な仕組みが整備されている。
 小中一貫教育においては、「知・徳・体」の3部会に小中の教員が分かれ、「小中一貫カリキュラム」を作成した。これは、義務教育終了時のめざす子ども像を共有し、発達段階に応じた目標や手立てを整理したものである。これをもとに、昨年度は各校で共通実践取組事項に取り組んだ。しかし、達成状況などを振り返る機会がなかったため、各校の取組にとどまり、連携しているという意識改革には至らなかった。

目標・方針：※課題を解決するためにどんなストーリーやシナリオを構想して、活動内容を組み立てたのか、記載してください。
 各部会で重点取組事項を日常生活に位置づけられるものにする事で、児童・生徒を9年間で育てるという教職員の意識をさらに高めることができるのではないか。また、学期に1回、取組を振り返ることを通して、意識の継続を図ることができるのではないかと考えた。

活動内容：※目標・方針に基づいてどのような活動を行ったか、また、複数の活動を展開した場合はその位置づけや関連性を記載してください。
 1. 3校担当者会議 (本校区は2小1中)
 2. 第1回研究推進委員会 (写真1) 研修主題の決定 (図1)
 3. 全教職員による「児童生徒の実態、課題」それに対する「具体的な手立て取組」の洗い出し
 4. 熟議の後、めざす姿の設定と日常生活における重点取組事項の決定 (写真2、3)
 5. 第1回児童・生徒アンケートの実施

活動の成果：※課題設定に対して、どんな影響、変化あったか、参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。
 1. 3校の担当者が気軽に集まって、話ができるようになったこと。
 3人で会の運営を計画・相談するなかで、小中の違いが明らかになることがあり、生徒の視点で「学び」の連続性を考えられるようになった。
 2. 重点取組事項を一つにしたことで、各校のプロジェクト部会が、分掌部会の集合体ではなく、目的をもったチームになったこと。
 各部会で決めた重点取組事項の取り組み方については、各校に委ねたため、各校のプロジェクト部会が実情に応じて、取り組み方を考えることになった。

アピールポイント (アイデアや工夫)：※3～5つ程度、箇条書きしてください。
 ・既存の枠組みを使ったこと。

・重点取組事項を日常生活の中での取組にしたこと。
 ・共通のビジョンは持ちながらも、発達段階に応じて3つの部会それぞれでめざす姿を決定したこと。

<写真、図表添付欄>


写真 1 


写真 2 

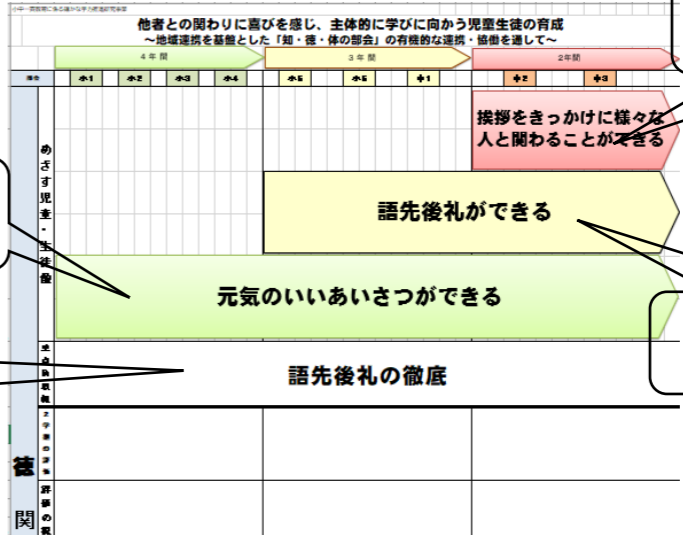
写真 3 

図 1 